

各 位

会 社 名 株式会社フェニックスバイオ
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 島 田 卓
 (コード番号: 6190 東証マザーズ)
 問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 部 長 田 村 康 弘
 (TEL 082-431-0016)

2021年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年8月12日に公表しました2021年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2021年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,346	△50	△37	△39	△12.23
今回修正予想(B)	992	△300	△273	△284	△87.97
増減額(B-A)	△354	△250	△236	△244	—
増減率(%)	△24.3	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	1,310	△146	△125	△415	△141.84

2. 修正の理由

2021年3月期連結業績予想につきまして、新型コロナウイルス感染症の終息時期が未だ見通せず不透明な状況にあり、2021年3月期は同感染症の影響が継続すると仮定しておりますが、顧客である製薬企業等は段階的に研究開発活動を再開しており、受注は堅調に推移しております。当社ではWebによるセミナーや商談を通じてPXBマウスのニーズ掘り起こしに努めており、海外製薬企業における抗B型肝炎ウイルス薬の開発進展も相まって、受注高はほぼ計画値どおりの1,404百万円(対前年比9.1%増)を見込んでおります。しかしながら、受注時期は新型コロナウイルス感染症の影響による研究開発活動の遅れから、下期に偏重いたしました。当社ではこの事態に対応するためPXBマウスの増産体制を取ってまいりましたが、集中した需要に対して一時的なマウス不足を避けられず、注力しているPXBマウス販売にも影響を及ぼすことから、安全性等分野の売上高は前回予想15.7%減の572百万円となる見通しであります。また、準備等を含めて比較的長期の試験となる抗B型肝炎ウイルス薬の薬効試験につきまして、多数の案件が翌期に持ち越しとなるため、薬効薬理分野の売上高は前回予想37.1%減の419百万円になる見込みであり、売上高を修正いたします。

損益面につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化していることから旅費交通費はじめとした販売費及び一般管理費が前回予想より8.8%減少する見込みであるものの、売上高の減少が影響することから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益をそれぞれ上記のとおり修正いたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上